

女子中高生夏の学校 ロールモデル集 2012



作成：平成24年度「女子中高生夏の学校2012」実行委員会

はじめに

平成24年8月中旬に、埼玉県にある国立女性教育会館で、「女子中高生夏の学校2012」（夏学）を開催しました。

夏学とは、日本全国から女子中高生が集い、暑い夏の2泊3日の合宿研修を中心に、科学技術の世界の楽しさと、多様な分野で活躍する理系女性先輩達の生の姿に触れる機会を提供しているイベントです。

夏学は平成17年に始まり、今年で8回目を迎えました。平成23年度年は、震災のため変則的な開催になりましたが、平成24年度は例年どおりの形式で開催しました。

プログラムは、実験・実習やポスターセッション、国際交流や学生企画など、多くの内容から成っていますが、毎年新たな企画が加わり、進化し続けています。生徒向けだけでなく、教員や保護者向けプログラムも充実しています。

夏学の一番の特徴は、参加者の支援をする夏学応援団です。「後輩に科学の楽しさを伝えたい！」と自発的に集まった約20名の理工農系女子学生TA（Teaching Assistant）と女性を中心とした100人近い研究者・技術者・中高の教員が、女子中高生に科学技術の魅力を伝え、理系進路選択への視野を広げることを目的として、体験・交流・仲間作りを支援してきました。

夏学参加中高生がTAとなり、TAが学生実行委員となり、学生実行委員が大学院を修了後、あるいは大学を卒業後、大学や企業の研究者・技術者や科学を基盤とした仕事に進み、企画委員等として夏学を応援する立場になるという、まさに「夏学の輪」がつながり始めています。

このたび、女子中高生進路選択支援事業の一環として、夏学に携わる方々を紹介するロールモデル集（冊子）を作成しました。

この冊子が、皆さんに夏学関係者の夏学への熱い思いを伝えると共に、理系女性研究者・技術者の裾野の拡大、女子学生の研究意欲向上、理系進路選択のきっかけになれば幸いです。

平成25年3月

「女子中高生夏の学校2012」実行委員長 野呂 知加子

為近 恵美

NTT マイクロシステムインテグレーション研究所
マイクロセンサ研究グループ 主幹研究員／グループリーダー

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

中学の頃までは数学が一番好きで、特に図形の証明問題はパズル感覚で楽しんで解いていたのを覚えています。ブルーバックスを読んで、4次元空間について真面目に考えたりもしていました。高校の物理で前期量子論を学んだのをきっかけに物理の理論の美しさに魅了されました。一方で、小学生の頃からSFや推理小説が大好きで、アシモフやコナン・ドイルなど読み漁りました。SF系のアニメや漫画も好きで手塚治虫さんのファンです。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

実は、文学や歴史も好きだったので、文系という選択肢もゼロではなかったのですが、何故か理系選択に関しては全く迷いませんでした。科学技術で世の中に役立つものを産み出したい、という漠然とした考えをもっていたように思います。しいて言えば、科学技術の発展による未来を想像させてくれたSF作家や鉄腕アトムの影響(笑)、また物理選択に関しては、高校時代の数学と物理の先生の影響もあると思います。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

通信会社の研究所で、光通信に関連した様々な研究の一端を担っています。以前は、光導波路や微小光学素子など光をキーワードとする物理寄りの研究に関わっていましたが、その後研究企画などの業務を経て、現在は、バイオセンサを研究するグループのリーダーとして研究開発の方向付けをしています。具体的にはこれまでに培ったバイオ系のセンシング技術を医療健康のために役立てるべく研究を推進しています。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来、今手がけている医療系のセンサを世に送り出したいと思っています。これは夢というより目標ですね。これを突破口に、研究所で研究開発した様々なデバイスが次々と実用化され、社会に役立つことを願っています。遠い未来は、夢というより、高齢化社会が加速する中、高齢者が生き甲斐をもって幸せに生きていける社会を実現したいと思い、そのために私たちが今できることは何か？を考えています。

Q.あなたにとって夏学とは？

今回、初めて参加しました。多くの理系に進もうとしている女子学生や迷っている女子生徒の皆さん、そして一緒に悩んでいる保護者の方や先生方と触れ合って、直接話を伺うことができ、貴重な体験でした。私自身も理系女子の母親で、迷うことなく理系を選択しましたが、自分の子供にも、是非、職業について考えるこのような機会を与えてやりたいと思いました。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系と一言で言っても様々な職業があります。同様に、研究職と言っても、大学だけでなく、産総研など独立法人の研究機関や企業の研究所という選択肢もあります。視野を広げて自分の将来を思い描いてみて下さい。迷ったら、自分はどんな社会を実現したいのか、を考えてみて下さい。もう一つ。理系だからと言って、数学と理科だけであればいい訳ではないので、将来のためには他の教科もしっかり勉強しておくことを強く勧めます！

永松 愛子

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
有人宇宙環境利用ミッション本部 宇宙環境利用センター

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

子供の頃から、理科が好きでした。小さな頃から、いろいろな分野の科学館やプラネタリウム、化石掘り、国内の射場施設を見に連れて行ってくれたことが、宇宙を好きになるきっかけでした。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

向井宇宙飛行士：小学4年生の時に選ばれた日本人初の宇宙飛行士。向井さんが「ライフサイエンス」の抱負を語られていたのをテレビで見て、自分も「ライフサイエンス」の分野から宇宙の仕事に就きたいと思いました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

現在の担当業務：日本人宇宙飛行士が国際宇宙ステーションに滞在中に受ける宇宙放射線による被ばく線量の計測。国際宇宙ステーション日本の実験モジュール「きぼう」船の宇宙放射線エリアモニタリング。

勉強：ロシア宇宙機関と共同で仕事をしているため、ロシア語を少しずつ勉強しています。

やりがい：息子2人（現在、小学生）が応援してくれること！

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来：日本の宇宙放射線研究分野のすそ野を広げること。有感星探査のために安全な放射線防護対策をとる研究を進めること。

遠い未来：月旅行に行って、地球を月面から眺めること。

Q.あなたにとって夏学とは？

私が宇宙に憧れていたころの姿を見ているようで、みなさんの意気込みが伝わってきました。夏学は、「あの頃の自分を応援しよう！タイムマシンプログラム」です。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

いろいろなプロジェクトや研究活動には、多くの分野の垣根を越えたところで成果がでます。できるだけたくさんの分野に視野を向けて、複数の得意分野を作ってください。航空宇宙に興味がある方は、ぜひ JAXA に入って、自分の得意分野を生かしてくださいね。一緒に働けることを楽しみにお待ちしております。

岡村 美好

山梨大学大学院医学工学総合研究部・准教授

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

ものを作ることと本を読むこと。ぬいぐるみや洋服など、小学生の頃から作っていました。出来上がりを想像するのが楽しいです。本は漫画、小説なんでも興味のあるもの、関連するものを次から次へと読みます。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

モノづくりに関わる仕事，男女関係なく評価される仕事をしたいと思いました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

ユニバーサルデザインが今のテーマです。これが基になって、土木工学，人間工学，福祉工学，心理学，男女共同参画，人材育成など，関連するいろいろな分野について研究などの活動をしています。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来の夢は，ユニバーサルデザインについて多くの方にきちんと理解していただくこと。遠い将来の夢は，性別や年齢，能力などの違う人たちがその多様性を尊重されてイキイキと暮らせる社会を作ること。

Q.あなたにとって夏学とは？

大学生以外の方たち，特に中高生に理系のことを知ってもらうことの重要性を知るきっかけになりました。また，理系女性の持つパワーは大きいこと，様々な理系女性が集まるとこんなにすごいことができるということを再認識しました。そして，自分がそんな理系女性のひとりであることに誇りを持つようになりました。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

まずは，何をしたいのか，どうありたいのかを考えましょう。それがわかったら，自分を信じて目標に向かって努力しましょう。まだわからない場合は，いろんなことに興味をもって，本を読んだり人と出会ったりいろいろな経験をしてください。そうすれば，世界が広がって何をしたいかが見えてきます。

桑田芽育

奈良高専機械工学科3年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

理科、図工

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

森博嗣さんの小説で工学分野について知り、その道に進みたいと思いました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

できる限りあらゆる分野の本を読もうと試みています。工学のことだけでなく、たくさんの方が知りたいので…

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

まずは実際に使える技術を身につけたいです。そして将来は、目立たないけれどもどんな所でもなくてはならない、縁の下の力持ちのようなモノを作る仕事に関わりたいと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

たくさんの方々と出会って世界の広がる楽しいところです！

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

計算が苦手でも理科が嫌いでも、物作りが好きなら理系です！また、理系とは化学だけではありません。機械、電気、情報、様々な分野があります！これらも将来の選択肢に入れてみてはいかがでしょうか？機械も楽しいですよ！！



古澤 亜紀

水城高等学校(茨城県水戸市)理科(地学)教員

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小中高と好きな科目は国語と理科。好きだったことは、本を読むこと、いろいろなもの(例えば月面写真や世界地図)を眺めて空想に耽ること。そして、貝殻や石、砂を収集すること。今から思えば、これが私の原点です。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

「理系に行くぞ!」と思ったのではなく、自分の興味関心を追求したら理系だった、という感じです。ただ、圧倒的に文系有利な成績の私が、理系に進むことができたのは、高校の先生方が理系進学を応援してくれたから。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

現在は、高校地学という教科柄、文系で「理科はちょっと苦手 OR 嫌い」という生徒に、どうやったら理科を楽しんでもらえるか、を日々模索中。趣味は教材作りの延長でペーパークラフトです。地磁気の立体図示やクリノメーターなどを手作りして、生徒の笑顔(苦笑?)を誘っています!

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

私には大学生の時に抱いた将来の希望が2つあります。まさに近い将来と遠い未来です。近い将来は、高校生に理科の楽しさを伝えることです。遠い未来は、高校という教育現場で培った経験を活かして、教員養成課程の学生さんたちに科学の楽しさを伝え、彼らが教員になることによってより多くの人に「科学って楽しい!!!」を伝えることです。

Q.あなたにとって夏学とは？

私にとって「夏学」は、自分の見知を広げてくれる扉のようなものです。夏学は参加者として1回、スタッフとして1回と2回しか経験していません。しかし、その2回でとても多く日常生活では経験できない出会いや触れることのできない体験がありました。これからも、夏学を通じて自分の世界を広げることができれば良いと思います。そして、私自身も誰かの世界を広げる扉の一部になれば、と思っています。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

真剣に願い、努力する姿は必ず人を動かします。自分の目標に向かって、是非、悔いの無い努力をしてください。高校までに学習する内容は文理問わず大切です。社会へ出た後のあなたの人生を構築する材料です。理系だから国語や社会が不必要などと考えずに、芸術や体育まで習得できる知識や経験は全て習得して欲しい。科学技術の開発には、その開発が地球環境や人間にどのように影響するのかを考える力など、多角的に物を捉える力が必要ですから。

ポスター参加

山室 成樹

株式会社栗本鐵工所 住吉工場 技術開発室



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

機械いじり、模型遊び、生き物好き。小学生の時は理科が好きで、クラスからは"理科博士"と言われたこともありました。小学生の時は偉人の話が大好きで、図書館通いが高じて図書部部长も。中学以降も明らかな理系科目好きでしたが、文学も歴史も地理も大好きでした。結果、大学では造船工学を専攻。コンピュータ解析が好きなテーマ。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

ほぼ開発畑ばかりを歩み、いろんなことを経験してきました。7年程度でテーマが変わってきたこともあり、電気、制御、機械工学、計算機工学、金属材料、音響工学などを学んできました。浅く広くですね。自分の専門分野を作りたいくて、計算機工学は最近ですが、ライフワークと考えるようになり今取り組んでいます。やりがい=したいことをする、ではないでしょうか

Q.あなたにとって夏学とは？

2012年に初めて参加しました。目を輝かせて参加しておられる学生さんたちと触れ合えたのは、いい刺激になりました。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

機械系に進学希望は高校時に決めましたが、それは自然に自分の好きなものが機械系だから選択。誰に影響を受けたということもなし。大学では入学時の選択で機械に漏れて造船専攻になってしまったが、選択に後悔は全くなし。卒業後の就職については自動車や重工業にも興味大だったが、今の会社に誘われて入社。これも何かの縁。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

テレビ番組で、70歳を越えておられた伝統工芸の匠が「技術に終わりはない」「生涯現役」まだまだ学びの途中です、という姿勢に感銘を受けました。技術者として、生涯現役でいられるように、日々勉強し、向上心を持ち、成長し続けることが目標です。夢は、やっぱり技術者であり続けること。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

自分がやりたいと思うことをすることです。それをしていると楽しいと思えることをすることです。そして、続けることです。

志喜屋 惟

筑波大学大学院、博士前期課程2年



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

算数や数学が好きでした。文系科目のように単なる暗記ではなく、公式などの知識をベースにしていかに解を出すか、という点に面白さを感じていました。ただ、一番好きだったのは体育だったことは否定できません。(笑)

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

原著論文の執筆に尽力しています。理系の大学院に進学したからには、学会での発表と原著論文の投稿を実現したいと考えていたので、その目標を達成すべく、日々実験と論文執筆に励んでいます。もちろん、研究だけではなく、趣味のランニングや友人と遊びに行くなど、私生活も充実しています。

Q.あなたにとって夏学とは？

「共育」の場です。本来なら、私が中高生に理系の楽しさや良さを伝え、視野を広げてもらう場だと思います。しかし中高生と話しをすることで、理系の良い面を再認識したり、異なる角度から理系について考え直す事ができたりと、私自身の思考が深まったように感じました。夏学は、そういったような「共に学び、育つ」場だと思います。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

理系進路の選択にあたり、「固有振動数で橋が崩壊するビデオ」に大きな影響を受けました。物理の知識がなければただの不思議な現象で終わっていたであろうことが、物理の知識を持っていればその現象の原理を説明できることに感銘を受けました。そこで、自然現象やいわゆる怪奇現象と言われていることを科学的に証明したいと考え、理系に進むことを決めました。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来は、上記でも述べたように論文を投稿するのが夢といいますか、目標です。3年間の研究生生活の集大成として、自分の研究を世界中に発信し、役立てたいです。遠い将来の夢としては、私自身や私の知識などを活かし、誰かの役にたつことです。社会に出るまでの24年間、たくさんの人とお世話になったので、社会に出てからはその恩返しをしていきたいと考えています。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

あくまでも理系である立場からのアドバイスになってしまうのですが、理系に進むことは悪い選択ではないと思います。学会や論文などを通して文章力やプレゼン力が身につくと思いますし、研究を介して物事を論理的に考える能力が少なからず身につくと思います。また、理系への進学を決めたからには、そのような利点があることを信じて、夢や目標の実現に向けて突き進んでいって欲しいです。

柴田 純

宝仙学園中学高等学校教諭・教務部長

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

理科の実験・日本の歴史

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

理系か文系か非常に悩んだ。理系コースに進んでおけばいざというときに文転ができる、という理由から数学を苦手としながらも理系コースを選んだ。高2の担任教諭（数学）の影響から、理系を真剣に目指すようになった。大学は物理学科に進学。自然の中に隠れた数学に魅せられ、教員免許は数学と理科の2種類を取得した。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

学校の現場レベルの管理・運営（時間割の作成、定期試験の管理、時間割変更、教員の出勤管理、生徒の成績管理、校舎の管理、職員会議の進行、対外的な日程調整など）を行っている。担当授業数は少なく、少々寂しい。現在は部活動の指導（弓道）に燃えている。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

日本が世界トップレベルの理科教育の先進国となることを夢見て……。

Q.あなたにとって夏学とは？

学校の仕事から完全に解放される3日間。科学者の皆さんといろいろな話ができる、私にとっても勉強の3日間。友達を作っていく中高生を見つめる3日間。閉校式で涙ぐみながらメアド交換をする中高生を見ているとジンとくる。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

世界はますますボーダレスになっています。理数系教科ばかり勉強するのではなく、社会科系の科目などの文系科目にも明るくなっておきましょう。入試などで今使わない教養こそ将来必要になります。

まっちゃん

日立製作所 日立研究所

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小中学生の頃は音楽や数学が好きでしたが、高校で生物や物理に興味を持つようになり、特に物理が好きになりました。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

最初（高校1年）は、理系の方が覚えることが少ないだろうという安易な気持ちで、理系を選択しました。2年になると、物理を教えて頂いていた先生の影響で、理科クラブを作って、色々な実験をするようになりました。こういった活動をするなかで、大学で物理を学びたいと思うようになりました。ですが、どんな職業に就きたいかまでは真剣に考えていませんでした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

平日は仕事、週末はDVD鑑賞や旅行、たまにマラソンをしています。マラソンは、会社の同期の勧めで始めたのですが、走ってみると意外と楽しく、「実は私も走ってるんです」という方が多く、ネットワークが広がります。また、あまりに字が汚いので、ペン習字の練習を最近始めました。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来のことはいつも考えこんでしまいます。研究は自分に向いてるのかな、あんな職業もいいな、こんなこともやりたいな、と悩みや夢は広がります。遠い未来への夢は、こどもが無事巣立って（まだいませんが）、平和な日常を送りつつ、やっぱり研究を続けていることです。

Q.あなたにとって夏学とは？

子どもたちと交流できる数少ない場の一つだと感じています。会社に入ってから、家族以外で中学生や高校生と接する機会がほとんどないため、中高生の率直な意見や考えを聞かせられると、とても新鮮で楽しい気持ちになると同時に感心させられます。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系を選択すると、大学や就職先では、やはり女性が少ないです。そのせいで寂しい思いをすることもありますが、今働いていて、やっぱり理系に進んで良かったなと思っています。それは、私が理科が好きだからだと思います。しんどいこともあるけれど、好きなことをできるのはとても幸せなことだと思います。だから、自分の好きを見つけていって進路のこと、職業のこと、将来の夢を描いていってください。

松村 聡子

千葉大学大学院 園芸学研究科 博士前期課程

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

科目：図工、理科
何かを作ること、観察すること
植物図鑑が大好きだった。
今思えば、ボタニカルアートから、植物観察へと興味が広がっていった。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

夏の学校のTAの先輩方
高校2年生のとき理系女子って楽しそうと、単純に思った。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

研究は植物に関して行っています。
その他には理科を一般の人がもっと楽しめる、プログラムの企画運営を行っています。
趣味は、お菓子作り（料理⇔実験なのでたのしいです）、世界の博物館に行くこと、です。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

理系女性として素敵に生きる！
これがより実現可能となる社会を作ること。

Q.あなたにとって夏学とは？

もうひとつの母校

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系女性は絶対に大変な選択肢です。
ですので人生楽したいなら、諦めたほうがいいです。
ただし人生を誰よりも楽しみたいなら、選ぶ価値はあります！

上垣 鮎香

奈良工業高等専門学校 情報工学科 3年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小さい頃から実験ができる理科、体を動かせる体育が好きでした。また、昔から男女年齢関係なく、たくさんの人とお話することが大好きでした。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

自分は、本当に理系に進みたいのか？という不安はありました。しかし、父が理系の学校に行っていたので、理系に対しての固いイメージはありませんでした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

今は、プログラミングやコンピュータの仕組みなどについて勉強しています。様々なことを知っていけることに喜びを感じています。また、今でも人と話すことがとても好きです。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

高専を卒業するまでに、プログラミングなどの専門教科の理解を深めて行きたいです。卒業後は、女性技術者として自信と誇りをもって男性にも負けずに働いて行きたいと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

世間から見た高専ならではの強みや、女性技術者が必要とされているということを知ることができました。また、女子大生の方に研究内容などについて話してもらうことができ、自分たちもいずれはこんな風に研究できるようになればいいなと思えたので、すごく良い経験になりました。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系=数学、理科ができる。というイメージがあるかもしれませんが、そんなことはありません。好きならそれでいいのです。できるかどうかよりも、好きだということが大切なのだと思います。

上嶋 優矢

株式会社栗本鐵工所
研究開発職

研究開発部門で磁気粘性流体という材料の開発をしています。磁気粘性流体は磁石を近づけると液体から固体に硬さが変わるものです。現在、この性質を利用してさまざまな分野での応用が期待されています。

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

中学生の頃は生物の授業が好きでしたが、高校以降は物理や化学も好きでした。実験をするのが特に好きで夏休みの自由研究などではよく手の凝った実験を行っていました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

現在、研究開発という仕事をしており、まだ世の中にないものもしくはさらに良いものを作るため努力しています。新しいものを作り出すのは大変なことですが、その分、やりがいのあることだと思います。自分の作ったものを誰かに認めてもらったときに大きな喜びを感じる事が出来ます。

Q.あなたにとって夏学とは？

私は夏学のことははじめ知りませんでした。まず、理系に関心を持ってくれている女子生徒がこんなに大勢いることに驚きを感じました。夏学で弊社のブースに来てくれた生徒たちの熱心さと発想力の豊かさにも驚かされました。理系の先輩として望みましたが、逆にいろいろと勉強させていただきました。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

予備校の化学の先生
一年間の浪人生活でゼロから勉強しなおしたとき、これまで決めていた進路とは違う新しいものも見えてきました。その中での化学の授業は受験のための勉強という枠にとらわれず、そのものの面白さに気づける内容であったため、進路を化学系に選択しなおしました。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来の夢は開発中のものが製品として世の中に出て行くことです。また、将来的にはより広く世界で使われるようになり、どこかで皆さんの生活に役立つことが出来ればうれしいです。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系をめざされる生徒さんに一つだけアドバイスをさせていただくなら、女性としての感性を大事にしていきたいということです。現状はやはり理系は男性の方が多いです。しかし、やはり男性ばかりに偏ってしまうと新しい発想も出にくいと思います。理系分野においても新しい発想は求められています。そこで皆さんには女性としての感性を活かした新しい発想をしていただきたいと思います。

森岡 由紀子

NEC 技術・知的財産統括本部



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだった科目は歴史、中学からは化学も。
小さい頃から好きだったのは、音楽。
小学校から合奏サークルに入っていたし、音楽の授業も好きでした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

仕事：会社全体の特許戦略（社内の特許に関するルールづくりや、「どの分野に何件の特許を出すべきか」の指針など）
やりがい：自分の頭で判断したことが会社全体に少しでも役に立ったと思えること
趣味：吹奏楽サークル、映画・お芝居の鑑賞、など

Q.あなたにとって夏学とは？

かわいい後輩のキラキラした可能性に触れることができ、初心に帰ることのできる素敵な機会

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

中学の授業で、化学って面白い、と感じたときに「大学では化学を勉強したい」と思い、それ以降疑ったり迷ったりすることなく、そのまま進路になりました。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来も遠い未来も、自分の実力よりちょっと上の目標に向かってがんばって、少しずつ達成感を味わいながら生きていくこと（仕事でも、趣味でも）

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

無駄な経験はない！むしろ、遠回りに見える経験をしても「この経験をどう活かすかは自分次第」とポジティブに考えて進むと、そのうち自分のやりたかったことができるようになっていたり、自分に向いていることに出会ったり、するのではないのでしょうか。まずは一歩踏み出してみよう！

ポスター参加

神津 薫

東京電機大学 未来科学部 ロボットメカトロニクス学科
講師



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだったこと：エレクトーンを演奏したり映画を観ること。
パソコンをさわること。
好きだった科目：数学，音楽

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

地歴のように暗記したりする科目より，数学や物理のようにいろいろな式を使い，答えを導くのが好きでした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

- ・今年を担当授業科目は電気回路，数学（微分，積分，対数，ラプラス変換）などの基礎科目をメインで教えています。
- ・趣味は美味しい物を食べること

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

- ・夢というか希望ですが，卒研究生がやりたい研究をして，就きたい職業に就職すること。
- ・遠い将来の夢：かっこいい女性の研究者になりたいです。

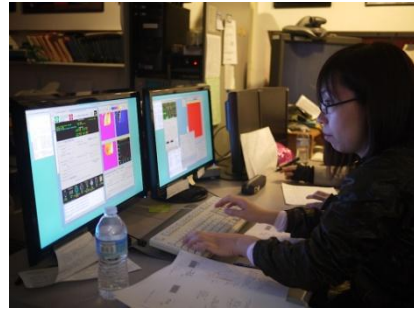
Q.あなたにとって夏学とは？

今回，初めて参加させて頂き，意識の高い女子学生がとても多いなと思いました。今年はモータの展示を行いました，来年も参加できたら，電気はこんなことにも使われているんだよ！というものを紹介したくなりました。やる気のある女子学生と話すことにより私も刺激を受けた良い場でした。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系に進むことで，就職の範囲が広がることもある。
とにかくやりたいと思ったことはなんでもやってみよう！！

大月 祥子
専修大学・講師



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだったこと：読書（ほとんど物語、少し図鑑）
好きだった科目：図画工作、国語、算数

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

現在の仕事では、文系の学生さんたちに宇宙についての講義をしている。また、金星探査機「あかつき」のプロジェクトに参加し、金星大気の地上観測などもしている。

Q.あなたにとって夏学とは？

いろんな道を進む先輩たちと、夢にあふれる中高生の皆さんにお会いでき、たくさん刺激を貰える場所。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

恐竜か、宇宙や地球について勉強したかった。
高校生のときにテレビの火星探査機「マーズ・パスファインダー」特集見て、その中で火星着陸用エアバッグを作っている人に憧れた。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来の夢：「あかつき」からの観測や地上望遠鏡からの観測で、まだ見たことのない金星の姿を見ること。
遠い未来の夢：自分の関わったものが太陽系の各地を旅すること。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

例え忙しくても大変でも「楽しい！」と思える道を見つけてください！



ポスター参加

大矢 浩代

千葉大学大学院工学研究科・助手



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

実家が電気屋で、父は電化製品の修理が主な仕事でした。家にオシロスコープやテスターがあり、小さいころ、テスターで遊んだり、父が修理のためにテレビの裏側のカバーを外していて、私はテレビの裏側から中を見るのが好きでした。中学のときは特に理系科目が好きではなかったのですが、高校から数学が好きになりました。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

高1のときは英語が好きだったので、英文科などの文系に進学しようと漠然と思っていました。しかし数学も大好きで、高2の時の地学の先生が魅力的な女性の先生で、理系地学のクラスが開講していたこともあり、地球科学の学科に進学することを決めました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

現在取り組んでいる仕事は、トウイーク空電と呼ばれる雷から放射される電磁波を解析して、電離圏という地球に一番近い宇宙のプラズマの状態を探ることです。トウイークは地表から高度60~110 kmの電離圏で反射しながら、数千km伝搬するので、日本で観測していても赤道付近で発生する雷起源のトウイークを観測することができ、地球の広い範囲の電離圏の状態を探ることができるのです。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

現在、国際共同研究で国内の他の研究者と一緒に東南アジアに観測ネットワークを構築していて、今年フィリピンとベトナムに観測システムを新設します。近い将来の夢は、早くその観測を軌道に乗せたいと思っています。遠い将来の夢は、海外の大学・研究機関に留学することです。私は20代で結婚・出産したため、これまで海外で研究する機会がありませんでした。子供が大きくなり手が離れたら、海外で修業したいと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

夏祭り(?)。今年初めて参加させていただきましたが、女子中高生のみなさんの元気・パワーに圧倒されました。真面目に将来の進路を考えつつ、基本的にイベントは楽しくあるべきと思います。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

私も高校生の時、文学部か理学部か、あるいは教育学部に行って教師になることを考えたこともあり、いろいろ悩みました。人生の岐路に立った時、正直言って頭で考えても分かりません。悩んだときは、シンプルですが自分の気持ちに正直になって進路選択することをお勧めします。日本語には、「腹を決める」という言葉がありますが、頭で考えて分からないときは、腹で決めてみてください。

大澤 悠

公立中学校 教諭(理科)

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小学生の頃から、一番好きだった教科が理科でした。『なぜ?』、『どうして?』と考えることが好きでした。どうしたら実験が上手くいくのか、良い結果が出るのかを、友人たちと議論するのがとても楽しかったように記憶しています。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

最も影響を受けたのは、高校時代の生物と物理の先生です。生物の先生は女性の先生だったのですが、身近な理系女性ということで、『格好良い!!私もなってみたい!!』と思っていました。物理の先生は授業がわかりやすく、生徒からの人気が高かったです。そんな2人の先生のようになりたかったのです。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

現在は公立中学校で理科を教えています。生徒と一緒に実験や観察をするのがとても楽しいです。中学生の疑問が、私自身の知識を高めてくれることが多く、私も勉強の毎日です。『理科って面白いですね!!』と言ってもらえることが、一番のやりがいです。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

大学4年生で教育に進むか、大学院に進むかで悩み、教育に進むことを選択しました。今の職業に就いたことに後悔はありませんが、できるならばもう一度大学院を目指し、研究をやりたいと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

学生時代は夏休みに必ずやらないと落ち着かないものでした。社会人になってからは、理系女子のタマゴたちに出会える、私にとって原点に帰れる場所です。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

やるか悩んだら、とりあえずやってみること。やってみたら、実は悩んでいたことが些細なことだったりします。やらずに後悔するより、やって後悔するほうがいい。

岸雄 慧美 (旧姓:塚田)

高校生向けの理科の教材編集

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

幼少期は植物の観察や、折り紙などの工作が好きでした。中高時代は理科(特に生物)が好きでした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

高校時代は研究職に憧れていました。大学・大学院で研究をする中で、学会や夏の学校でポスター発表をする機会をいただき、「言葉の一つひとつを自分で選んで、専門的な内容を分かりやすく人に伝える」ことの面白さに気づきました。そして修士1年の冬、企業に就職する道を選びました。今は進研ゼミの教材づくりの仕事をしています。教材使ってくれた方から、役立ったと言ってもらえる瞬間が最も嬉しいです。

Q.あなたにとって夏学とは？

先生方やTAのみなさんを見て、大人になっても(大人の方が)進路やキャリアに悩んでいるんだとわかって、とても励まされました。夏学で皆さんとお会いすると、「自分も頑張ろう！」と思います♪

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

理科が楽しくて好き♪という理由で理系進学を決めました。高校時代は数学が苦手でしたが、同級生に、「数学が苦手だからという理由で、研究の道をあきらめられるの？」と問いかけられ、すぐに「NO」と答えられた自分に気づき、迷いがふっきました。大学・大学院での研究は充実していて楽しかったです。理系に進学したことで、夏の学校に出会えたことにも感謝しています。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

将来の夢、というより、目標かもしれませんが、家庭と仕事を両立しながら、夏学にかかわっている偉大な先生方のように、社会が抱える課題を見過ごさず、自分にできることを行動に移していきたいと思っています。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

今は「私の夢は●●です！」と言い切れなくても悩まなくて大丈夫です！人は日々成長しているのですから、一度夢を決めたとしても、成長とともに夢は変わるものだと思います。ぜひ、たくさんの「やってみたい!」「こうなりたい!」と思うものに出会い、全力で追いかけてみてください!

保科 さや香

筑波大学理工学群物理学類2年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

数学が大好きで大好きで大好きで仕方なかった！あとは星を見るのが好きだった。プラネタリウムとかよく行った。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

両親が2人とも理系だったのでいろいろアドバイスをもらった。理系に進むと決めたのは、もう中学に入ってしまった。だって国語とか社会楽しくないんだもんっという感じ。しかし、進む理系の分野を決めたのは悩みに悩んで高校3年生の夏だった。高校の物理の先生の存在はその進路選択にとっても大きい存在だったかもしれない。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

今は、物理のいろいろな分野を学んで選考を考えている途中。大好きな数学をたくさん使っているし、興味のある宇宙分野について学んでいるからとても楽しい。ただ、今まで自分のしらなかった分野がたくさん知れて、視野がだんだんと広がってきた。とりあえず今はいろいろ考え中。後は息抜きにテニスを趣味としてやっている。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

大学院にいったって修士までいく。将来はJAXAに勤めたい。そしていつか、宇宙旅行～！

Q.あなたにとって夏学とは？

私は TA としてしか参加したことはありませんが、みんな理系の人たちだったので、とても楽しい場でした。趣味や話の合ういい友達に出会える場だと思います。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系は大変なんじゃないかと思っっていると思いますが、大変です笑。しかし、好きなことができるのですから、多少大変でも全然苦ではないです！ぜひ、みなさんも理系をどんどん目指してください。ただし、数学や理科は必須なので、しっかりと勉強を笑

ゆいね

東京薬科大学生命科学部分子生命科学科生命医科学コース4年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小さい頃は星を見るのが好きでした。その後、中学受験をするときに塾で担当してくださった先生の影響で社会科と理科が大好きになり、特に日本史と人体・天体が好きという子でした。知的好奇心旺盛な子どもで、勉強の好きな子どもでした。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

高校時代に体調を崩していた時期があり、そのときの主治医の先生の影響が大きかったように思います。働く女性として、医師として、というお話をたくさん聞き、私もそのようになりたいと憧れを抱き、理系に進むことを決めました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

現在は C.elegans という線虫を用いた生物活性物質の探索をテーマに研究をしています。朝から晩まで研究に追われる生活で、大変ではありますが充実しています。土日祝日問わず研究室にいるので、自分の居場所とやるべきことがあることが嬉しく、研究結果が最終的に誰かの役に立てば良いと考えています。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

私の夢は子どもと関わる仕事をする 것과医療に関わる仕事をするものでした。そのうち、子どもと関わる仕事は中学受験塾の講師として4年間働くことで叶ったので、もう1つの夢は今年の4月からは病院で新薬開発の仕事をする事で叶える予定です。将来的には結婚し、子育てをしながら働いていきたいなと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

出会いの場だと思います。様々な分野で活躍している大人や女子大生、いろんな夢を持っている中高生と出会って、たくさん話して自分の人生にプラスの影響を与えてくれるような場所だと思います。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

やりたいことがあったら「自分には無理だろう…」と諦めずにとりあえずやってみてください。数学や理科が苦手でも、好きならやってみれば変わることもあります。夢を諦めなければ意外なところでチャンスが巡ってくるかもしれません。学生は夢を見て良い時期なので、たくさんの経験を積んで、素敵な人になってください。

野呂 知加子

日本大学大学院総合科学研究科生命科学専攻・生産工学部応用分子化学科・医学部細胞再生移植医学講座・教授

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

時計などの分解、模型飛行機づくり、天体観測、猫の飼育、音楽、バレエ、理科、数学、英語

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

近い将来の夢は、自分が今までやってきた研究を自分なりにまとめて集大成し、そこから新しい発見をすること。遠い未来への夢は、人類の幸福のために科学を役立てること。そして、あまり遠くない未来に、女性も男性も自分の能力を発揮して社会で活躍し、かつ、自分の生活（結婚・育児等含む）も楽しめるような時代が来ることを願っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

次世代女子中高生に科学のおもしろさを伝える場。これがきっかけとなって、大学でも女子学生プロジェクトを始めました。暑い夏ですが、貴重な体験をさせていただいています。また、国立女性教育会館との出会いも、その後男女共同参画についていろいろ勉強させていただく上で、大変役立っています。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

女子中高一貫校（フェリス女学院）の担任の生物の女性の先生。生き生きと元気なお人柄、興味深い実験、夏休み課題図書「結婚・遺伝・生命—親子の証明—」 児玉浩憲 三省堂新書 41（1968：絶版）の影響を受け、生命とは何かについて、研究してみたいと思いました。その後も大学や大学院でいろいろすばらしい先生の薫陶を受け、それらを糧として今の自分があります。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

生き物の不思議を分子の言葉で語る。再生医療やがん転移の基礎研究をしています。次世代や一般の人に科学のおもしろさを伝える。もっと普通に女性科学者がたくさんいる社会を作る。趣味は音楽なので、音楽とサイエンスのコラボをやりたいですね。サイエンス・ミュージックカフェとか。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

理系は手に職といった面もありますが、理系的考え方というのは、これからの社会のいろいろな場面で重要となってくると思っています。また国際交流という側面も重要です。理系専門科目の他、英語の勉強もして、外国人とも対等にディスカッションする女性科学者として、世界で活躍してください。

柳 優

日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア開発研究所
ソフトウェア・テクニカル・サポート所属

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

算数・数学 - 色々な法則を組み合わせさせて計算をしたり、証明問題を解いたりすることが好きでした。他の教科は途中で飽きてしまっても、数学の問題なら答えが出るまで何時間でも取り組むことができました。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは？

私が担当しているソフトウェア製品で発生する障害について、対応力 NO.1になりたいと思っています。そのために、空いた時間で自ら本を読んで勉強をし、かつ、様々なケースの問題に積極的に関わるようにしています。自分が頑張って問題を解決した時、お客様や同僚から「あなたのおかげで助かった」、「あなたから多くのことを学んだ」と言われると頑張って良かったと思います。

Q.あなたにとって夏学とは？

たくさんの可能性を秘めている中高生の皆さんとお話ができる場所。昔の自分を思い出しながらお話をしているので、忘れ去っていた思いや夢に気がつくことが多くあります。また皆さんから質問を頂くことで、私自身がとても刺激を受けていますし、新たな挑戦をするきっかけになっています。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

「女性が少ない」「勉強ばかりで遊ぶ時間がない」という噂を聞いていたので本当に私は理系進学をして大丈夫かと悩んだ時期があります。しかし進路相談会等で、実際に理系進学をして理系の職業に就いている女性の先輩方が世の中にはたくさんいることに気が付き、自分も頑張れば同じように出来るはずと思うことが出来ました。今振り返っても、一時的な不安に負けずに自分の思いを貫いて良かったと思います。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来：アメリカ出張に行って、海外の開発部門のメンバーと一緒に新製品のテストをする
遠い未来：日本はもちろん、海外の同僚・お客様に最も頼られる存在になる。夢の海外生活！どこかの国の研究所でエンジニアとして働く。定年後はハワイでゆっくり過ごす。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

『常に未来をイメージしましょう』

- 目標や夢を常に答えられるようにしましょう
- その夢に向かって、行動を起こしましょう
- 尊敬できる人を見つけ、行動を真似してみましょう

ポスター参加

林 ゆう子

東京工業大学 産学連携推進本部 産学連携コーディネーター



Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだったのは、算数(数学)、理科(ただし、動植物や鉱物、星・星座の名前を覚えるのは嫌い、足のない虫は写真や絵のあるページをセロテープで閉じてしまうほど嫌い)です。読書(小説)、作文も好き、物理・化学系の実験は大好きでした。ピンクや赤の服は着ないし、髪飾りなどつけない、かなり偏った好みの子でした。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

10年前まで研究者だった時は、分子の動きを色に変換して見る事をしていました。時々自分が組み立てた理論による予想と違うことが起こり、いつまでも驚きと不思議が続く日々でした。現在の仕事は、大学の先生の研究を実際に世の中で使ってもらえるように、企業の研究者との間を橋渡しすることです。様々な先端科学と実用化されている先端技術とに触れていられる、知りたい！が満たされる幸せな仕事です。

Q.あなたにとって夏学とは？

元気いっぱいの女子中高生が目キラキラさせながら、色々なものを覗き込み、現象に驚き、活発な会話を交わすのを見て、「教えられることは何でも教えてあげたい。」「一緒に考えられることは一緒に考えたい。」と思う場です。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

10歳のころ、学校で行った実験で、溶液の色が変わるものがありました。化学者だった父や5歳年上の兄の影響で原子や分子の概念を知っていたので、原子の結合状態が変わることで色が変わるのって素敵！と思いました。その時から化学をきちんと体系立てで、勉強したい。と思うようになりました。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

いつまでも、人が困ったことを解決したり便利に思ったり喜びにつながる技術や、これまで解らなかつたことが解き明かされる科学に触れていきたいです。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

勉強としての理科・数学だけでなく、生活の中にある様々な疑問に目を向けて、頭の中に浮かんだ疑問を紙に書いてみると、理系って面白いな、奥が深いな。と思うはずです。不思議！素敵！知りたい！が基本の楽しい時間を過ごしましょう。

cf

フランス、大学、研究員（夏学 2012 参加当時は JAXA 研究員）

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

数学、理科

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

理数系科目が好きだったこと、きれいな惑星画像に感動したこと。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

惑星環境モデルを作ってその特徴を調べ、過去の探査データの理解や惑星探査ミッションに向けた観測項目の提案を試みています。

物理の他、フランスに来てからはフランス語を勉強し、街歩きが楽しみです。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

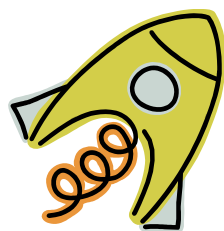
国際協力体制の大きな惑星探査ミッションをよいものにし、科学へ貢献したい（遠い未来）。そのために世界の人々との交流を強く太いものにし、知見を学び、提案して行きたい（近い未来）。

Q.あなたにとって夏学とは？

さまざまな出会いときっかけの場（現役世代と将来世代、それぞれの世代同士、進路の提案など）

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

好きなことを仕事にできるのは、機会にも恵まれたのもあるが、本当に幸せと思う。いろいろなことを体験し、好きなこと・興味あることを見つけて進んでください。



廣瀬 史子

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
エンジニア

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだったもの： 飛行機や宇宙
好きな科目： 数学、英語

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

考えたこと： 将来は宇宙に関する職業に就きたい。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

惑星探査機の軌道計画を立てたり、スペースデブリ（宇宙ごみ）の軌道を決める仕事

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来: わくわくする宇宙開発を企画したい

遠い将来: 宇宙開発を通じて、国際貢献出来たら嬉しいな。

Q.あなたにとって夏学とは？

一生懸命メモを取りながら企画に参加してくれた学生さん達に感謝！

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

自分より学力優秀な人がごまんといるなか、理系に進学しても就きたい職業に就けるのか、もちろん不安がありました。けれども、やりたいことがあれば続けることが大切。但し、やりたいことを続けながらも、幅広く経験を積んで、自分の可能性を広げておくことも忘れないで。



ポスター参加

千木良 美由紀

所属企業:株式会社 日立建設設計 ビジネスサポート本部
職業:建築士
所属組織:日立技術士会 理事・広報委員長
日立技術士会 登録活動グループ「チーム・技魔女」001号
公益社団法人日本技術士会 男女共同参画推進委員会 企業チーム長
公益社団法人日本技術士会登録 企業内技術士交流会行事部会定例会 主査
特定非営利活動法人女性技術士の会 広報部会員
INWES Japan 会員



Q.小さい頃から好きだったことや科目は?

勉強は好きでした。が、特に理科や算数が好きだったとか、得意だったとかいうことはないです。全般的にどんな科目にも、ある程度以上の興味を感じていました。読書は大好きで、夏休みは、妹と小学校の図書室に通ったことをよく覚えています。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やがいは?

仕事:建築物・オープンスペースの企画、企業・組織・人のブランディング
勉強:ジェロントロジー(長寿社会の総合的人間学)、経営企画
趣味:海外旅行、街なか散歩、和文化的探求、文通、ゴルフ、ベリーダンス
やがいは:具体的・直接的に社会の役にたつ仕事……に携わりたいが、なかなか難しい

Q.あなたにとって夏学とは?

理系のたまごの皆さんと出逢い、新しい元気の素をもらえる『場』。
学生の頃の自分を、懐かしく恥ずかしく想い出す『時』。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は?

職業に直結することを大学で学びたいと思い、文系:法学部・理系:建築学科の2パターンで進路を検討しました。小さい時から、漠然とですが、弁護士か建築士になりたいと思っていました。結果として理系を選択したのは、都市計画・建築系の仕事をしたいとより強く希望するようになったからです。祖父は建設省のエンジニアで、父は土木コンサルタント事務所を営んでおり、工学系一家だったことも直接的な理由だと思います。

Q.近い将来と遠い未来への夢は?

「夢」という言葉をあまり使わなくなってきている自分に、改めて気づきました(笑)。最近日常的に心がけているのは、仕事のON/OFFをうまく切り替える「ライフワークマネジメント」です。「夢」というよりは、仕事をサクサクこなし、プライベートを楽しむ時間を増やしたいという「欲」が出てきました。遠い未来、定年退職後は「和装がばっちり決まるような人」になりたいと思っています。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

幅広くいろいろなことに興味を持って取り組むのがいいと思います。試したり迷ったりする時間をもっているのは、ほんとうに素晴らしいことですよ～。

跡見 順子

現在の所属: 東京大学・アイソトープ
総合センター特任研究員(東京大学名誉教授)
職業: 研究者&教育者

Q. 小さい頃から好きだったことや科目は?

- ・小中: 音楽・ダンス・習字、とくに好きな科目はなかったが、嫌いな科目もなかった。取り立てて言えば、地理や地形の由来を考えるのが好きで、理科は化学は何となく面白かったが、生物は好きではなかった
- ・高校: テニス部でテニスで明け暮れる

Q. 現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは?

高齢社会を、生き甲斐をもち、やり続けることができる一生にしたい。そのために、“自分で自律的に動くことができる”健康な身心を維持・育成する方法を早急に明らかにする必要がある。その基本は、生命・細胞のコアシステムと、「人間」としての基本システムを“生かす”必要がある。1個の受精卵から異なる組織をつくる60兆の細胞から成る身体を脳が理解し、統合体としての人間として生きる、その論理と方法を確立したい。

Q. あなたにとって夏学とは?

若いときに出会った人間が生きていることの面白さ、不思議さを、若い女子中高生にも理解してもらい、私の夢を実現してくれる後輩達に夢を伝える場。人間として生きていることの素晴らしさを若い女子中高生に伝える場。自分の身体に潜む自然のしくみを理解し、自分自身が生きるのに役立てる方法を発見してもらう場。

Q. 理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は?

地理科志望だったが地理科は理系ではなかった。第二志望で入学することになった保健体育科は、解剖学や生理学などもあり、文理両方の基礎を学ぶことになったが、生理学を通じて自分自身を含めて人間システムを生物学的に理解することで、はじめて心の底から「面白い」と思った。生理学的な生体の現象に魅了された。小中高で影響を受けた人は教師・友人ともにいない。影響を受けたとすれば、良く勉強する姉弟である。

Q. 近い将来と遠い未来への夢は?

人間の生物学、あるいは人間基盤科学という新しい研究・教育分野の創成。細胞と身体の両面で「動く」原理から成る多細胞動物としての人間と、特有の文化を生み出してきた人間の両面を理系的な可能な方法論を駆使して、変化し続ける存在としてとらえる分野を創成したい。専門家である前に、一人の人間として自分自身を理系的にも理解する必要がある。現在は、事が起こってからの医学以外に人間をトータルにみる分野がない。

Q. 理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

人間は誰でも理系的側面も文系的側面も両方持っている。高校までに文理を分けるのには反対である。とくに医学・薬学・教育学・パラメディカル・理学（とくに生物学も化学も生物物理学）・生活科学は、生命（生物）としての人間を対象として研究・教育を扱うので、身心に関して悩んだり疑問をもったこと、つまり自分が生きていることをどのように科学としてとらえることができるか、という目を養ってほしい。

江尻 省

国立極地研究所・助教

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

好きだったこと： なぞなぞ、手品、外で遊ぶこと
好きだった教科： 算数、図工

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

考えたこと：好きなことをやろう
影響を受けた人：周囲の身近な人から教科書や偉人伝の中の人まで多数

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

見えているようで見えていない、手が届きそうで届かない、上空 100km 前後の『超高層大気』の研究をしています。地球の中性大気と宇宙の電離大気がせめぎ合う領域で何が起きているのか？！地上からの光を使った遠隔観測で明らかにしようとしています。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

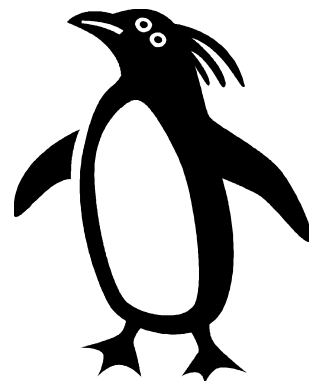
近い将来の夢：南極で越冬観測をして素敵なデータと共に帰国する。
遠い未来への夢：内緒

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

迷ったら、とりあえずやってみればいんじゃないでしょうか。

Q.あなたにとって夏学とは？

女子のパワーを確認する場所



夏学卒業生 → 学生 TA(班付き) → 学生企画委員

にしー

首都大学東京 学部 4 年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

何かに熱中すること。教科は理科、数学。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

伯父が研究者で、研究は楽しいと小さいころから聞かされていた。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

勉強、研究。趣味は読書、語学、写真、趣味探し

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来：修士に進学が決定
遠い未来への夢：アカデミックポスト

Q.あなたにとって夏学とは？

サイエンスが好きで活力のある女の子に出会える場

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

やるときは集中してやる。すぐに結果がでなくても自分を信じながら続ける。

吉岡 実里

芝浦工業大学システム理工学部機械制御システム学科 4年

Q.小さい頃から好きだったことや科目は？

小学生の頃からよく本を読んでいました。同時に、外で日が暮れるまで遊びまわる、活発な子供でもありました。

Q.理系進路選択にあたって考えたことや、影響を受けた人は？

最終的に理系に進路を決定したのは、2008年の夏学に参加した時でした。同年の理系志望の女性たちと話すことで受けた刺激は、やはり自分の進路を決める一手だったように思います。「一緒に頑張ろう」と言い合える同士を夏学で見つけることができたことを嬉しく思います。

Q.現在取り組んでいる仕事、勉強、趣味、その他やりがいは？

研究室では1年間、先進安全運転支援システムの開発の研究をしてきました。交通事故を未然に防ぐために、自動車に組み込まれたシステムがドライバの認知の補助をすることで、事故を軽減させることが目的の研究です。まだ研究段階など多い内容ですが、将来的には人の役に立つシステムとして活用されればと思い、取り組んでいます。

Q.近い将来と遠い未来への夢は？

近い将来の夢：今取り組んでいる研究の報告書を完成させて、私がこの1年間研究してきたことの集大成を形として提出すること。遠い未来への夢：2年前、ロールモデルに書かせていただいた時、私は「人を幸せにする仕事に就く」という夢を掲げていました。これからもその軸をぶらすことなく、進んでいきたいと思っています。

Q.あなたにとって夏学とは？

中学生・高校生・大学生、どの年代で参加しても刺激を受ける場でした。そして、これから先参加したとしても、やはり様々な年代と接し、意見を交換することで良い刺激を受ける場だと思います。

Q.理系をめざす女子中高生へアドバイスをお願いします。

とにかく「やってみたい」という気持ちを大切にしてください。1人で出来ないことは、2人で、3人で、みんなと協力し合って積極的に行動することが大切です。みなさんのこれからの活躍を応援しています。